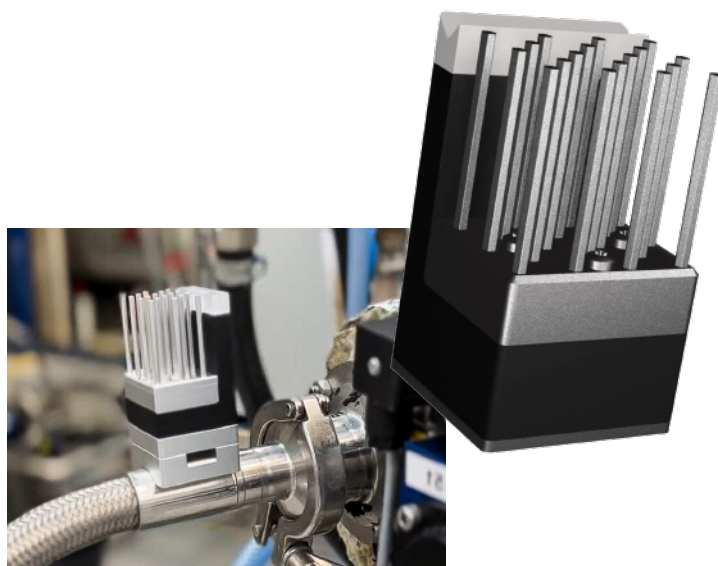


廃熱を利用して動作する高温警告デバイス

設備の温度上昇を赤色ライトで警告／電源供給不要

- 廃熱を有効利用
- アラーム光により高温の表面を触ってしまう事故を予防
- 電源・配線・電池不要
- 設置が簡易
- 可動部がなく長期間使用可能
- 固定電源が確保できない高所や手の届かない場所でも利用可能



TEGnology 社の **SensEver HSI** は廃熱を利用して発電、動作するエネルギーハーベストデバイスです。

SensEver HSI を設置した設備の表面温度が高くなるとその熱を利用して動作を開始し、閾値を超えると自己発電により赤い光を点滅させ警告します。作業者が危険を検知することに役立ち、間違って高温箇所をさわってしまう事故を減らします。電源・配線・電池は不要で、設備表面と周囲の温度差からデバイス内で発電して動作し、可動部はなく長期間使用できます。

仕様

大きさ	35mm × 35mm × 60mm
対応パイプ太さ	> 8 mm
素材	アルミニウム / EPDM
最大動作表面温度	145°C (周辺温度 25°C の時)
警報閾値	60 ~ 140°C の間で調整可能 (購入前に要指定)
電源	自己発電
アラーム	赤光の点滅
環境対応	ATEX Zone2 準拠

温度差から発電するエネルギーハーベストデバイス

排管の熱を利用し、IoT 機器に給電

- CO2 排出量削減に貢献
- 温度差を利用し IoT デバイス等に給電
- 電源・配線・電池不要
- 設置が簡易
- 可動部がなく長期間使用可能
- 固定電源が確保できない高所や手の届かない場所での電源として利用可能



TEGnology 社の **SensEver Alfa** は廃熱を利用して発電するエネルギーハーベストデバイスです。

自己発電した電力を外部デバイスに供給できます。固定電源が確保できない場所、手の届きにくい場所の電源として利用できます。IoT デバイスや IoT センサーの電池交換、交換作業が不要になり、CO2 排出量削減に貢献します。また地熱を利用した屋外用ポータブル電源としてのカスタム事例もあり、環境や用途に応じたカスタムも行っています。

ホームページ記載の仕様は一例ですので、要求仕様がある場合はご相談ください。

仕様例

※出力電圧や対応する表面温度など、使用環境や用途に合わせたカスタムが可能ですので、ご相談ください。

出力電圧	3.3V
最大ピーク電流	400mA
出力電力	13mW±10%@ $\Delta T=40^{\circ}\text{C}$
電力バッファ（充電可能電力）	0.57mAh
コールドスタート時間 (at $\Delta T=40^{\circ}\text{C}$)	600s
コールドスタート時間 (at $\Delta T=20^{\circ}\text{C}$)	1300s
リチャージ時間 (at $\Delta T=40^{\circ}\text{C}$)	150s
リチャージ時間 (at $\Delta T=20^{\circ}\text{C}$)	650s
動作するための最低の温度差	10 $^{\circ}\text{C}$
動作最大表面温度	100 $^{\circ}\text{C}$